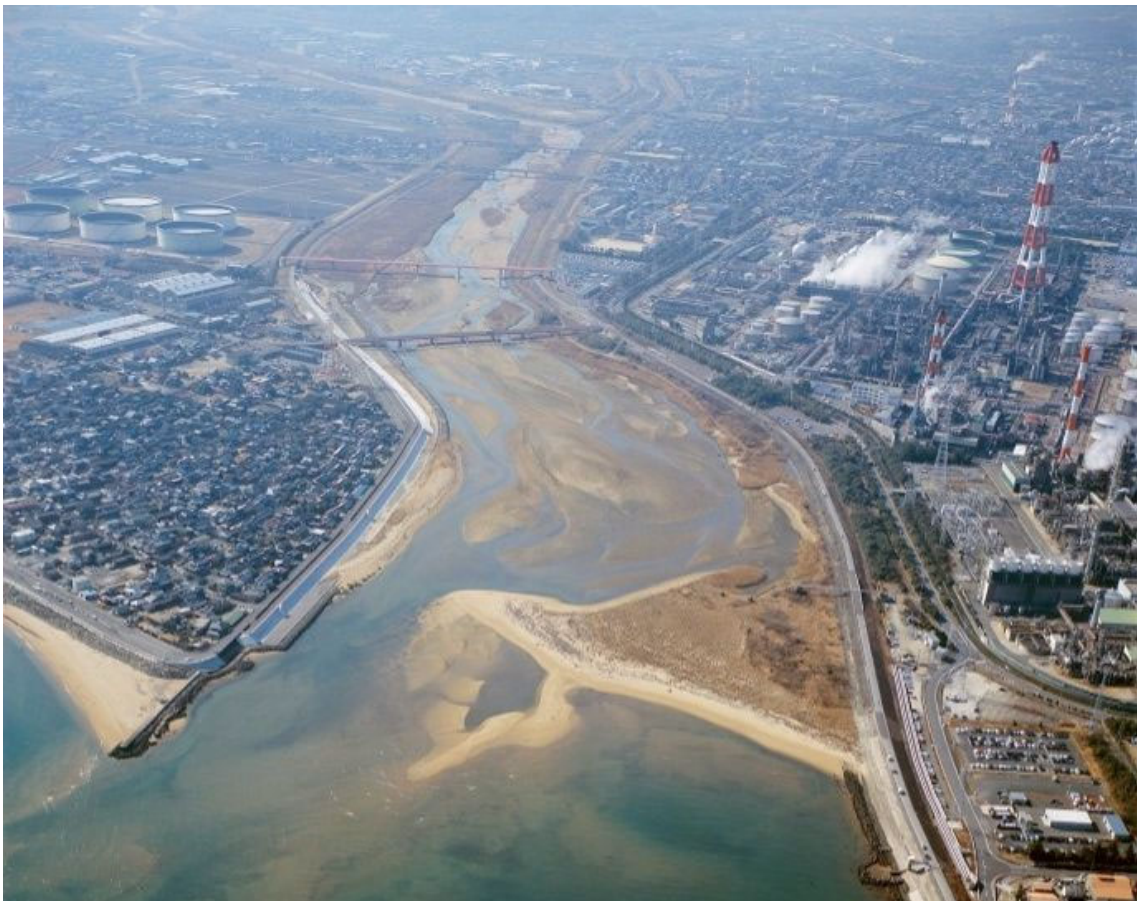


教員用

すいがい まも 水害からいのちを守るために

すずかがわへん (鈴鹿川編)



- ・本書では授業のポイントを記載しています。
- ・授業の進め方は、「学習指導・発問計画」の2・3ページを予めご確認ください。
- ・取り扱うコマ数によって、使用しなくてよいページがございます。各ページ上部に、対象時限を記載しておりますのでご確認ください。
 - 例) 4-1 : 4コマ中の1コマ目で扱うページ
 - 3-1 : 3コマ中の1コマ目で扱うページ
 - 2-1 : 2コマ中の1コマ目で扱うページ

1	わたしたちの ^{すずかがわ} 鈴鹿川	1			
	(1) ^{すずかがわ とく} 鈴鹿川の特ちょう	1	1	1	1
	(2) ^{ちけい とく} 地形の特ちょう	3	1	1	1
	(3) ^{かわ れきし} 川の歴史	5	1		
2	^{すいがいじ} 水害時 ^{きけん} におこる危険	7			
	(1) ^{い せ わんたいふう} 伊勢湾台風	8	2		
	(2) ^{すいがいじ} 水害時 ^{きけん} におこる危険	11	2	1	1
3	^{すいがいじ} 水害時にわたしたちがとるべき ^{こうどう} 行動	20			
	(1) ^{すいがい} 水害により ^{み きけん} 身に危険があるとき	20	3	2	2
	(2) ^し 知っておくべきこと	23	3	2	2
4	みんなでとりくむ ^{すいがい} 水害へのそなえ	27			
	(1) ^{すいがい こま くふう} 水害で困らない工夫	27	4	3	
	(2) ^{ちいき ひと かぞく たす あ} 地域の人、家族との助け合い	30	4	3	
5	さいごに	32	4	3	2

わたしたちといっしょに^{まな}学んでいきましょう。



先生



しょうた



りか

このコーナーで
児童に考えさせながら授業を進めてください

○ ^{ほん} ^{みかた}この本の見方



そのページで^{まな} ^{ことば}学ぶ言葉の^{いみ} ^{せつめい}意味を説明しています。

考えてみよう

みんなで^{かんが}考えてみましょう。

もっと知ろう

^{じゅぎょう} ^{まな}授業で学ぶことに^{かんけい} ^と ^あ関係する^よことを取り上げて
います。^{じかん}時間があるときに^よ読んでみましょう。

すずかがわ とく
(1) 鈴鹿川の特ちょう

たかはたやま
高畑山



あんらくがわ
安楽川

すいでん はたけ
水田・畑

すずかしやくしよ
鈴鹿市役所

すずかし
鈴鹿市

こくどう
国道 23号

すずかがわはせん
鈴鹿川派川

きんてつなごやせん
近鉄名古屋線

言葉をすべて覚える必要はありません。
山から海へと流れていくことを理解する。

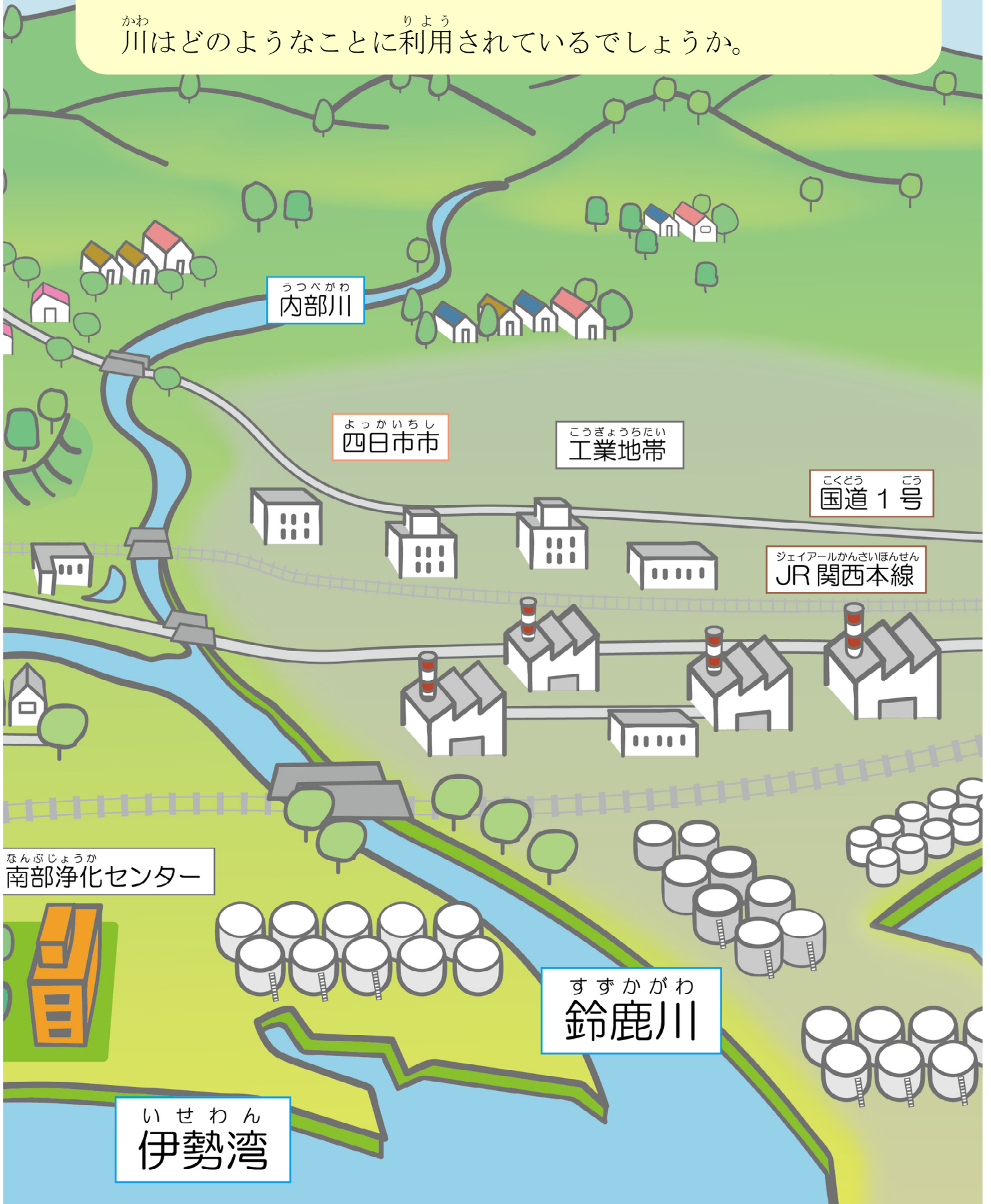
すずかがわ み え けん し が けん さ かい
鈴鹿川は、三重県と滋賀県の境にあ
たかはたやま な が い せ へ い や
る高畑山から流れはじめ、伊勢平野で
あんらくがわ ごうりゅう かわ わ
安楽川と合流します。2つの川に分か
れた後、内部川と流れをひとつにして、
い せ わん な が
伊勢湾に流れこみます。

考えてみよう

自分たちのまちに流れる川のことを考える。
「川を利用している」ことを想像させる。

みなさんは川に遊びに行ったことはありますか。

川はどのようなことに利用されているでしょうか。



(2) 地形の特ちょう ^{ちけい とく}

^{すずかがわ} 鈴鹿川は、^{ちけい} 地形によってさまざまな ^{すがた} 姿をしています。

^い 生きものにとっての ^{たいせつ} 大切なすみかであるほか、^{ひと あつ} 人が集まる場所として ^{りよう} 利用されています。



^{なが} 流れがゆるやかで ^{ふか} 深いところ
(^{さかな} 魚のすみか)



^{すな いし} 砂や石がたまったところ
(^{しょくぶつ そだ とり あつ} 植物が育ち、鳥が集まる場所)



^ひ 干がた



アユつり



^{かわ うみ} 川が海に流れこむ ^{ところ} 所や、^{しず} 静かな ^{かいがん} 海岸には ^{こま} 細かい ^{すな} 砂や ^{どろ} 泥がたくさん ^{たま} ります。潮が引いたとき ^と にできる ^と 遠浅の ^{はま} 浜を「^ひ 干がた」といいます。

すずかがわ
 鈴鹿川はわたしたちの生活や生き物に豊かな恵み
 をあたえているね。わたしたちの学校や家の近く
 では、どのような景色がみられるかな。



さくらなみき
 桜並木



サイクリングロード



バルーンフェスティバル

多様な流れのおかげで、生きもののすみかや人々の河川利用があること学ぶ。
 川の「良い面」を伝える。



そうすいじょう
 送水場

※以降で水害による被害を伝えます。

川に対して「怖い」印象が残ってしまわないように、川の「良い面」を
 本ページで必ず伝えてください。

かわ れきし
(3) 川の歴史

川が物流の発達や水源の確保として
人々に多大な恵みを与えたことを学ぶ。

^{むかし}昔から、^{すずかがわぞ}鈴鹿川沿いは^{しがけん}滋賀県や^{ならけん}奈良県への^{じゅうよう}重要な^{こうつうろ}交通路として利用
されてきました。^{きゅうとうかいどう}旧東海道が通り、^{とお}宿場町が開け、^{しゅくばまち}今も^{ひら}関宿の街並み
などの^{とうじ}当時の^{おもかげ}面影が残されています。また、^{うみ}海に近い^{ちか}ところでは、^{せきゆ}石油
コンビナートをはじめとした^{さんぎょう}産業が^{はったつ}発達しました。



^{せきじゆく}関宿 ^{まちな}の街並み



^{すずかがわ}鈴鹿川と ^{よっかいち}四日市コンビナート

一方で氾濫をくりかえしてきたことも学ぶ。

^{こうつうろ}交通路として^{りょう}利用された^{いっぽう}一方
で、^{やま}山のほうから^{なが}流れてくる^{おお}多く
の^{どしや}土砂が^{かわ}川の中^{なか}にたまっていき、
^{すずかがわ}鈴鹿川の^{かりゆう}下流^{ほう}の方では^{おおあめ}大雨のたび
に^{かわ}川から^{みず}水があふれていました。
このため、^え江戸時代^{どじだい}から^{ひとびと}人々は
^{ていぼう}堤防をつくらせていきました。

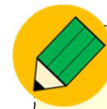


^{ていぼう}堤防と ^{くさ}草を ^か刈る ^{ひと}人

しかし、^{うがんがわ}右岸側は^{かんべじょうか}神戸城下であること
 から、^{はんしゅ}藩主は「^{ていぼう}堤防をつくと^{かりゆう}下流にあ
 る^{かんべじょうか}神戸城下が^{ぎやく}逆に^{きけん}危険になる」という
^{りゆう}理由で、^{さがんがわ}左岸側の^{ていぼうきょうか}堤防強化を^{ゆる}許しません
 でした。そのため、この^{ちいき}地域では、^{じょせい}女性
 たちが^{いのち}命が^{さがん}けで^{ていぼう}左岸の堤防をか^あかさ上げ
 したという^{よにんていぼう}女人堤防なる^{はなし}話が^{つた}伝えられ
 ています。

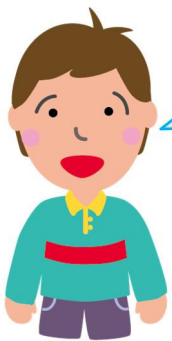


^{よにんていぼう} 女人堤防の碑 ^ひ



^{かわ}川が^{なが}流れていく^{ほうこう}方向

を^{みぎがわ}ながめたときに、^{みぎがわ}右側を
^{うがん}右岸、^{ひだりがわ}左側を^{さがん}左岸と呼び
 ます。



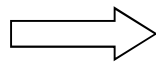
^{すずかがわ}鈴鹿川では、^{こうつう}交通や^{さんぎょう}産業などが^{はったつ}発達した一方で、^{いっぽう}水害に
^{なや}悩まされていたんだね。



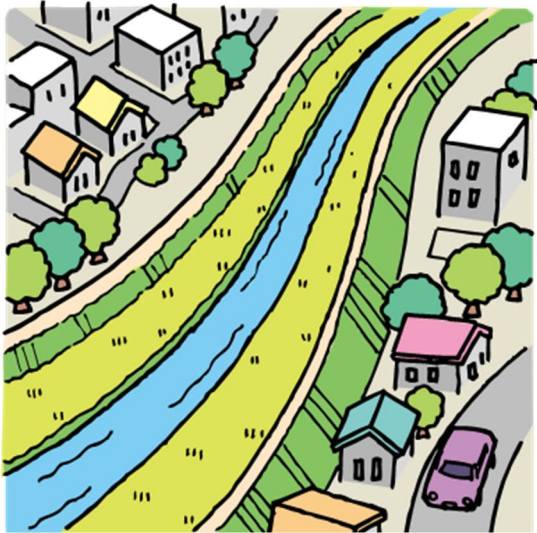
大雨が降ると堤防から水があふれ、命の危険がある。
 8ページ以降の導入として、雨の降る前と降った後の様子を紹介。
 すずかがわ おおあめ かわ みず
 鈴鹿川では、大雨のときに川から水があふれないように
 ていぼう まな
 堤防がつけられたと学びました。
 ていぼう みず
 堤防があるところからは、水はあふれてこないのかな？

すずかがわ ようす <鈴鹿川の様子>

あめ ふ まえ 雨の降る前



あめ ふ あと 雨の降った後



よ ぎもん 良い疑問ですね。

おおあめ すずかがわ じょうりゅう なが たいりょう
 大雨がふると鈴鹿川の上流から流れてきた大量
 みず ていぼう
 の水が、堤防からあふれてしまうことがあります。

すずかがわ おお すいがい さいきん
 それでは、鈴鹿川でおこった大きな水害や、最近の
 ひがい
 被害をみてみましょう。



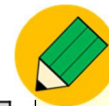
いせわんたいふう (1) 伊勢湾台風

しょうわ ねん ねん がつ にち はっせい いせわんたいふう たいふうだい ごう
昭和34年（1959年）9月26日に発生した伊勢湾台風（台風第15号）

ちゅうしんきあつ おおがたいふう どうかいちほう おお
は、中心気圧が929.6ヘクトパスカルの大型台風で、東海地方に大き
な被害をもたらしました。

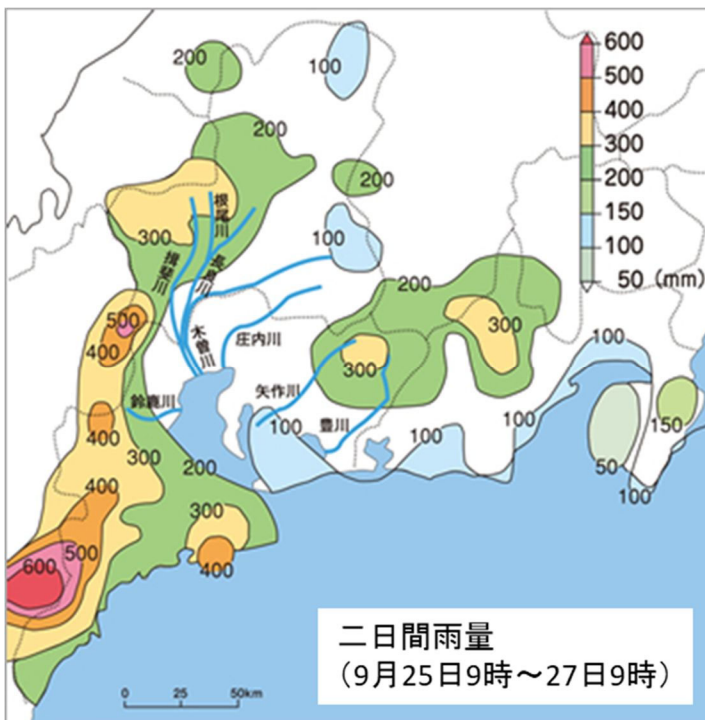
ちゅうしんきあつ ひく たいふう ねん ねん ■ 中心気圧が低い台風（1951年～2019年）

じゅんい 順位	じょうりくじ きあつ 上陸時の気圧 (ヘクトパスカル)	じょうりくにちじ 上陸日時
1	925	1961年9月16日9時すぎ
2	929	1959年9月26日18時ごろ
3	930	1993年9月3日16時前

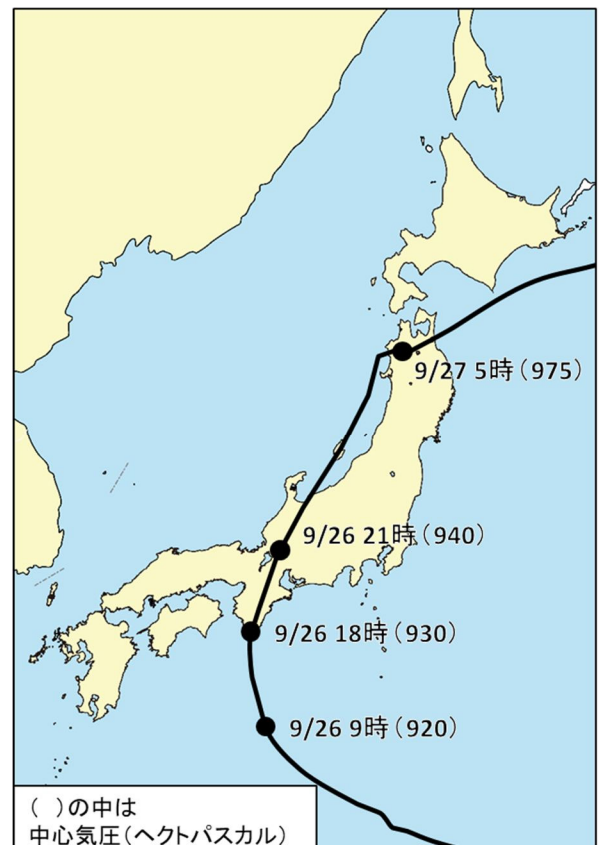


ヘクトパスカル…

たいき あつりよく
大気（たいき）の圧力（あつりよく）をあらわす
たんい すうじ ひく
単位（たんい）です。この数字（すうじ）が低い
ほど、台風（たいふう）の強さ（つよ）は強（つよ）く
なります。伊勢湾台風（いせわんたいふう）は、観測
（かんそく）されている中で、2番目（にばんめ）に
ちゅうしんきあつ ひく たいふう
中心気圧（ちゅうしんきあつ）が低い台風（ひく たいふう）です。



ふつかかん うりょう
二日間でふった雨量



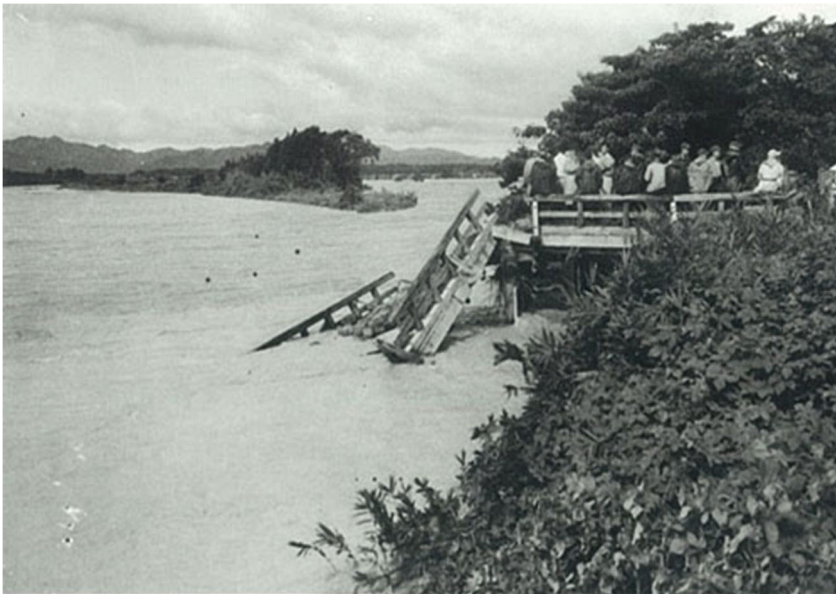
たいふう とお みち
台風の通り道

すずかがわりゅういき やく こ たてもの しんすい なか たてもの
鈴鹿川流域では、約19,000戸の建物が浸水しました。中には、建物が

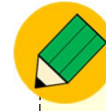
ひがい おお
こわれる被害も多くみられました。

しゃしん ふね じゆう いどう ようす
写真からは、船などがないと自由に移動できない様子がみてとれま

い せ わんたいふう ひがい せいかつ おお えいきょう あた
す。伊勢湾台風による被害は、生活に大きな影響を与えました。



はし ようす すずかがわ
橋がおちてしまった様子 (鈴鹿川)



やま だいち あまみず
山や大地にふった雨水

ひく なが かわ
は、低いほうへと流れ、川

なが
に流れこみます。このよう

あまみず かわ あつ はんい
に、雨水が川に集まる範囲

かわ りゅういき
をその川の「流域」といい

ます。

すずかがわりゅういき
鈴鹿川流域とは、その

はんい あめ すずかがわ
範囲にふった雨は鈴鹿川に

なが はんい
流れこむという範囲をあら

わします。



写真を中心に伊勢湾台風による被害を知り、水害で生活に影響を及ぼすこともあることを学ぶ。

ふね つか いどう ようす まつさかし
船を使わないと移動できない様子 (松阪市)

もっと知ろう

おおあめ 大雨ってどんなとき？

たいふう ちか 台風が近づいているときに、テレビなどで「明日は猛烈な雨になるおそれがあります。外出はひかえましょう。」というアナウンスを聞いたことはありませんか。テレビなどでの雨の表し方は、下の表のとおりに決まっています。

また、「1時間雨量●mmの雨」とは、「1時間で●mmの深さで雨がたまること」を示します。50mmをこえると非常に危険です。

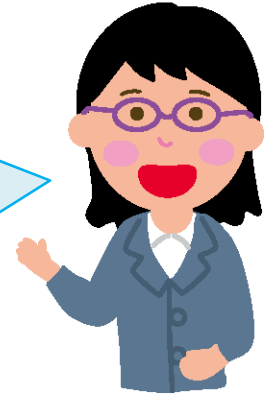
1時間雨量 (mm)	予報用語 (人のうけるイメージ)	人への影響	屋内	屋外	車に乗っていると
10~20	やや強い雨 (ザーザーとふる)	地面からはね返りで足元がぬれる 	雨の音で話し声がよく聞き取れない 	地面一面に水たまりができる 	
20~30	強い雨 (どしゃぶり)	かさをさしていてもぬれる 			ワイパーをはやく動かしても見づらい 
30~50	はげしい雨 (バケツをひっくりかえしたようにふる)		寝ている人のおよそ半数が雨に気づく 	道路が川のようになる 	スピードをあげているとブレーキがかかりにくい 
50~80	ひじょうにはげしい雨 (滝のようにふる)	かさがまったく役に立たなくなる 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる 	車の運転は危険 
80~	もうれつな雨 (息苦しさ、恐怖を感じる)				

(気象庁提供)

(2) すいがいじ きけん 水害時におこる危険

にほんぜんこく すいがい 日本全国では、毎年のように水害がおこっています。水害がおこると、下の写真のようにさまざまな被害を受けます。

すいがい じょうきょう 水害がおこるとどのような状況になるのかな。
した しゃしん み そうぞう 下の写真を見ながら想像してみましょう。

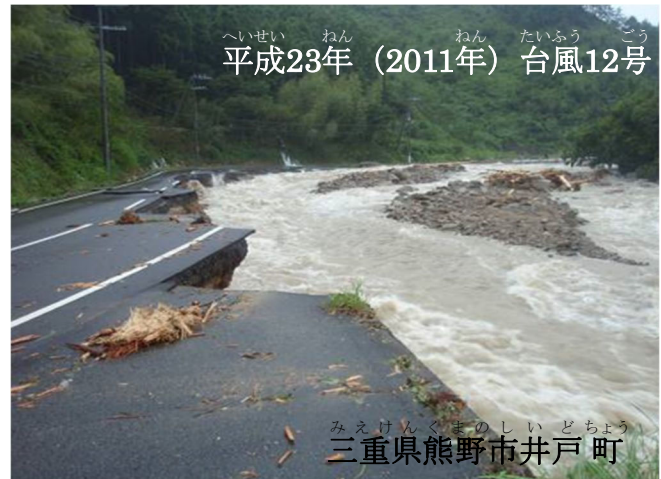


水害時に起こる危険を考えると、その後の授業において「わたしたちがとるべき行動」を考える際の土台をつくる。



川に流れる濁った水が押し寄せる。

堤防がこわれる



道路がこわれる



川から水があふれる

堤防は壊れていないが、堤防を越えて水があふれることもある。



家がこわれる

川沿いでは、流れる水のはたらき（侵食）で、家の土台が削られ家屋倒壊の恐れがある。

考えてみよう

次のページも見てね

写真のような被害を受けると、どのような危険があるのでしょうか。



こんなときはどうなるかな？

- ・家からひなん場所へ歩いて行きたい。
- ・近所に住むおばあちゃんといっしょにひなんしたい。
- ・車に乗って買い物へ行きたい。

水害が起こった時にとるべき行動を考えることができるように、「水害がおこるとわたしたちはどのような点で困るのか」を想像できるようにする。



山がくずれて、道路を通れない

台風のときにテレビで被害のようすを見たことがあるよ。



山がくずれて、家がこわれる
もしも家の中にいたら怪我をする。
最悪の場合は死に至る。

わたしたちの身の回りでは、どのような被害を受けたことがあるのかな。



すずかがわりゅういき しょうわ ねん ねん たいふう しんすい
鈴鹿川流域でも、昭和49年（1974年）の台風により、まちが浸水し
ました。きんねん へいせい ねん ねん へいせい ねん ねん しんすい
近年は、平成16年（2004年）や平成24年（2012年）などに浸水
ひがい う
被害を受けています。

大人のひざまで水につかっている。車が水没しており、車での避難が困難である。道路脇に溝があっても見えない。



しょうわ ねん ねん しゅうちゅうごうう すずか ししょうのちょう
昭和49年（1974年）集中豪雨（鈴鹿市庄野町）



くるま みず
車が水につかっているね。
ふだんはどのようなところかな。

きけん
どのような危険があるのかな？
みんなでかんがえてみましょう。





しょうわ ねん ねん しゅうちゅうごう ume かめやましみゆきちょう
昭和49年 (1974年) 集中豪雨 (亀山市御幸町)



しょうわ ねん ねん しゅうちゅうごう ume すずか しいずみばしふきん
昭和49年 (1974年) 集中豪雨 (鈴鹿市和泉橋付近)



ようす
くだんの様子



おおあめ ふ あと
大雨が降った後

一面水につかっている。車を使った移動は困難である。
ふたのない溝があれば、気づかずに足をとられるおそれがある。



ようす
ふだんの様子



おおあめ ふ あと
大雨が降った後

道路と歩道の段差が見えないため、
つまずいて怪我をするおそれがある。

へいせい ねん ねん
平成16年 (2004年)

たいふう ごう すずかしぶんかいかんふきん
台風21号 (鈴鹿市文化会館付近)

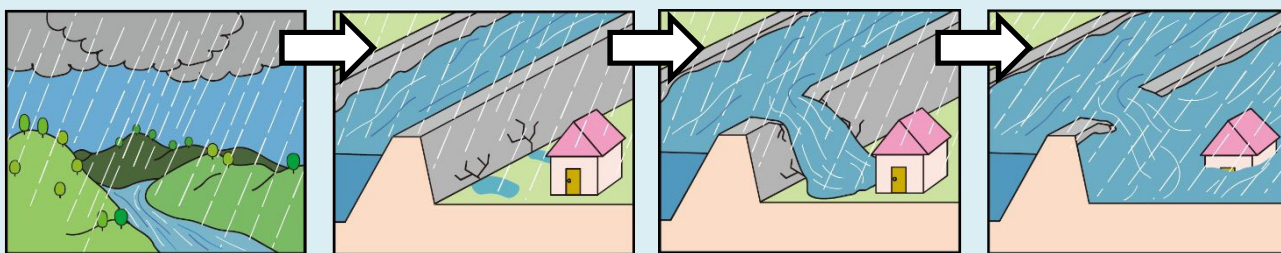


もっと知ろう

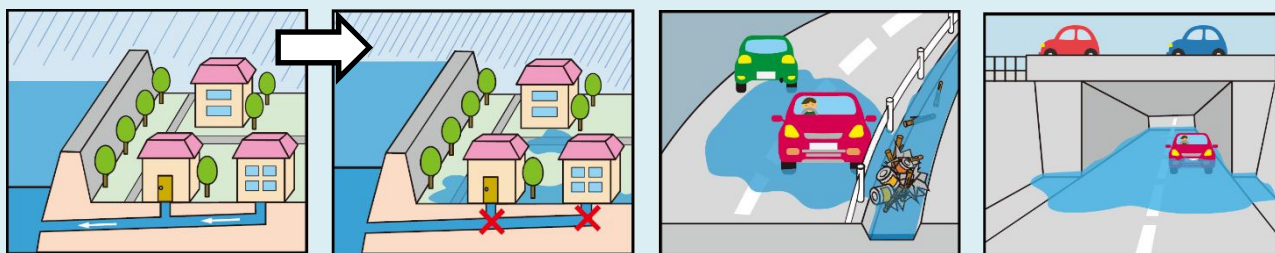
すいがい
水害ってどうやっておこるの？



かわ なが みず りょう おお
川を流れる水の量が多くなると、堤防から水が
あふれてきたり、堤防がこわれてまちに水が流れ
てくるね。(外水はんらん)



ふだんは、街中にふった雨は、排水溝や下水道を
とお かわ はいすい
通って川に排水されます。しかし、おおあめ かわ
の水の量がふえ、街中の水が排水できなくなって
あふれてしまうことがあります。



かわ かんけい ばしょ はいすいこう
川とは関係ない場所でも、排水溝にゴミがたま
ってしまい道路に水があふれることがあるね。
てつどう こうかした どうろ ひく
鉄道の高架下などの道路が低くなっているところ
にあまみず
に雨水がたまることもあるよ。(内水はんらん)

もっと知ろう

川の水位の上がり方

雨のふり方や雨のふる場所によって、川の水位の上がり方はさまざまです。ゆっくり川の水位が上がることもあれば、集中豪雨によって水位が急に上がることもあります。

平成20年（2008年）7月、兵庫県神戸市を流れる都賀川では、急な集中豪雨が発生し、10分間で1.34メートルも水位が上がりました。水遊びなどをしていた16人が流され、そのうち5人が犠牲となりました。



10分間
1.34m ↑



川の水が急にふえることもあるんだね。

雨がふると、いつもより川を流れる水の量がふえたり、流れがはやくなったりするから、川では遊ばないようにしましょう。



(1) 水害により身に危険があるとき

わたしたちのまちでも、大雨によって身近な場所が水につかったり、山がくずれたりするかもしれません。万が一のときにそなえて、わたしたちの身に危険があるときにすべきことを考えてみましょう。



水害がおこると、さまざまな危険があることを学びましたね。

わたしたちはどのように行動すればいいのかな。



考えてみよう

次のページを見てね

雨が降ってきたときに、まわりの状況はどのように変化するでしょうか。そして、わたしたちにどのような影響があるでしょうか。わたしたちがとるべき行動を考えてみましょう。

こんなときはどうなるかな？



- ・自分の家にいるときに雨が強くなってきました。
- ・ひな人をしようとしたときには、あたりが水びたしになっていました。

雨が強くなっていくときを想像しながら意見を挙げていくことで、そのあとに考える「わたしたちの行動」について考えやすくする。

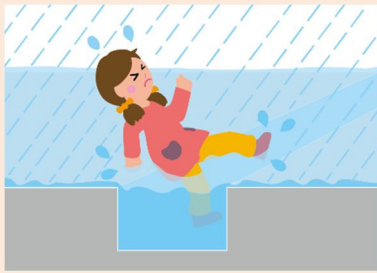
<p>あめ 雨のようす</p>	<p>かわ じょうきょう 川の状況</p>	<p>まわりの状況 まわりの状況</p>
	 <p>ふだんのようす</p>	<p>ふだんのようす</p>
 <p>みず 水たまりができる</p>	 <p>ふだんより水の量が ふえている</p>	<p>あめ つよ 雨が強くなる</p>
 <p>かさ 傘をさしてもぬれる</p>	 <p>すいめん ていぼう ちか 水面が堤防に近づいている</p>	 <p>どうろ いちぶしんすい 道路など一部浸水する</p>
 <p>みず 水しぶきであたり一面が しろ 白っぽくなる</p>	 <p>みず 水があふれそう または、あふれる</p>	 <p>ていぼう みず 堤防から水があふれだす</p>
<p>みず 水しぶきであたり一面が しろ 白っぽくなる</p>	 <p>ていぼう 堤防がこわれる</p>	 <p>ていぼう 堤防がこわれる</p>

えいきょう
あなたへの影響

こうどう
とるべき行動



そと で あぶ
外に出かけるのが危なくなる



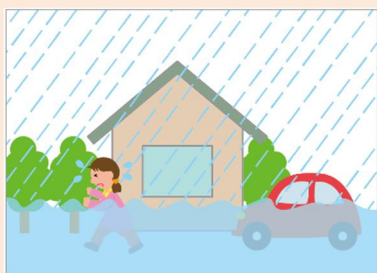
すいろ み
マンホール、水路などが見えない



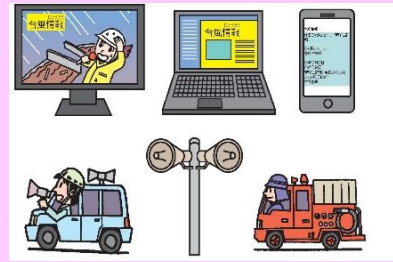
おぼれたり
なが
流されたりする



ひら
ドアが開かず
そと で
外に出られない



しんすい みうご と
まちが浸水して身動きが取れない



じゅんび
ひなんの準備をする



に まえ
逃げられなくなる前に
あんぜん ばしょ
安全な場所へ

ひなんする

なが
流されないように

たか あんぜん
高く安全な

ばしょ いどう
場所へ移動する



避難が遅れた場合、または、
避難した場所に水が押し寄せてきた
場合は、高く安全な場所へ移動する。

(2) し 知っておくべきこと



わたしたちの身の回りが危険な状況になる前に、早めに安全な場所へひなんすることが大切であることを学びました。

すいがい 水害がおこったときに、わたしたちの身の回りはどのような状況になるのかな。



しぜんさいがい はっせい 自然災害が発生したときに、どこでどのような災害がおこるかをよそく ちざじょう きけん ちいき ばしよ けいろ しめ 予測して、地図上に危険な地域やひなん場所・ひなん経路などを示したものを「ハザードマップ」といいます。しぜんさいがい じしん つなみ どしゃ 自然災害は、地震、津波、土砂災害、すいがい 水害などさまざまですが、それぞれの災害についてハザードマップがつくられています。



ハザードマップを見てわたしたちの家や学校の周りの状況を確認してみよう。



考えてみよう

ハザードマップを見ながら、身の回りの危険を確認しましょう。

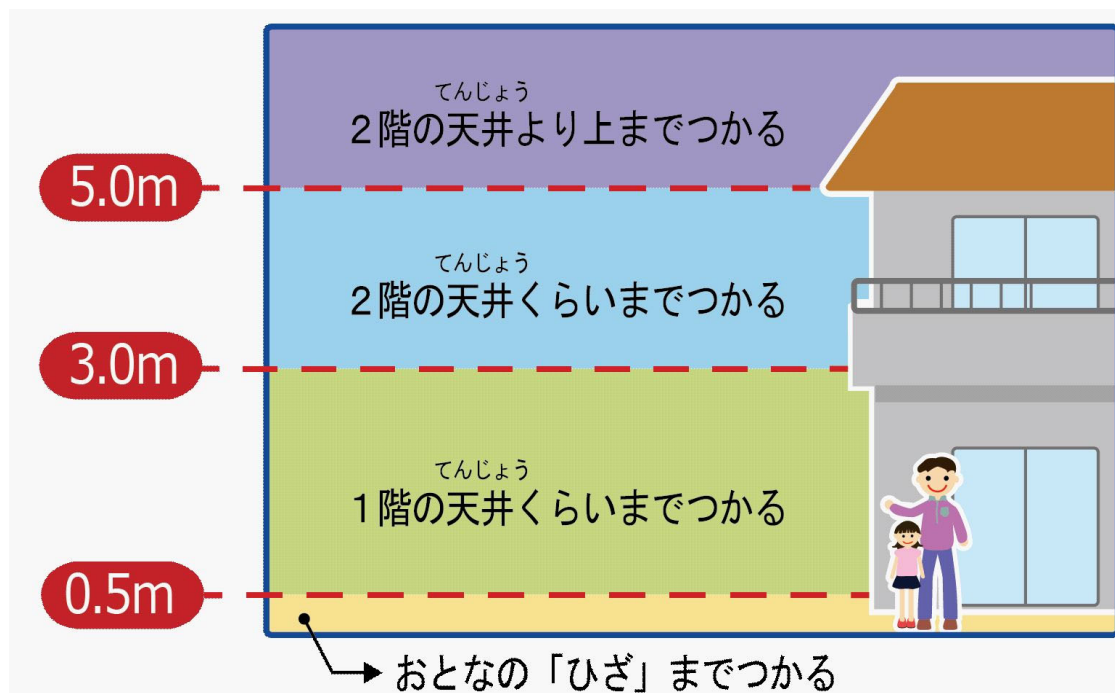
【手順】

班ごとに机を一つにして、大判のハザードマップを見ながら
下記の手順に沿って、身の回りの危険を確認する。
★授業用プリントあり ★宿題用ワークシートあり

① 学校（自宅）の位置に印を入れましょう。

② 学校（自宅）は、水につかりますか？

③ 水につかる場合、どのくらいの高さまでつかりますか？



どのくらいの高さまで水につかるおそれがある
のかは、地図にぬられた色から読みとることができるよ。

④ 学校（自宅）は、建物がたおれるおそれがある地域に入っていますか？

<p>説明 せつめい</p>	<p>かわ みず 川からあふれた水のいきおいで、 たてもの なが 建物が流されるおそれがある場所</p>	<p>たてもの どだいぶぶん 建物の土台部分がけずられて、 たてもの 建物がたおれるおそれがある場所</p>
<p>しるし</p>		
<p>例 れい</p>	 <p>平成30年（2018年）7月豪雨 愛媛県大洲市東大洲</p>	 <p>平成23年（2011年）台風12号 三重県熊野市井戸町</p>

⑤ 学校（自宅）は安全ですか？

⑥ ひなんのため、学校（自宅）の周りの安全な場所をさがしてみよう。

してい ばしよ
指定ひなん場所のマーク

- ちか ばしよ
・ 近くのひなん場所はどこにあるかな？
- ばしよ たか あんぜん ばしよ
・ ひなん場所のほかに、高く安全な場所
みず ばしよ
(水につからない場所) はあるかな？



※  と  は一時的に
ひなんできる場所です。



きょう 今日かくにんしたことは、おうちの人にも
おし 教えてあげてね。

早めの避難の重要性を、授業のまとめとして伝える。

きょう 今日かくにんした「水につかる地域」は、「雨がふったときに必ず水
につかる場所」というわけではありません。しかし、「このあたりまで水
につかるかもしれない」と考えて、水につかって動くことができなくな
る前に、早めに安全な場所へひなんすることが大切です。

もっと知ろう

ひなんについての情報

さいがい 災害がおこったとき、かくしちょうそんちょう じゅうみん 住民にひなんを呼びかける
「ひなん情報」を発令します。意味を知っておき、ひなんをする目安
としましょう。

けいかい 警戒レベル3

こうれいしゃとう 高齢者等ひなん

ひなんをする準備をしましょう。こうれいしゃ 高齢者の
方などひなんに時間がかかる人は、ひなん
を開始しましょう。

けいかい 警戒レベル4

ひなん指示

すぐに、ぜんいん 全員、ひなんを開始しましょう。
いどう きけん ばあい たか ぼしょ 移動が危険な場合は、高い場所にひなんし
ましょう。

けいかい 警戒レベル5

きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保

さいがい はっせい 災害が発生しています。じぶんの命を守る
ための行動をしましょう。

(1) 水害で困らない工夫

鈴鹿川では、水害による被害をおさえるために、さまざまにとりくみが行われています。



毎年、台風はおこっているのに、鈴鹿川の周りでは大きな被害は出ていないね。

考えてみよう

水害で困らないため、川は普段から管理されていることを知る。取り組みは1つでは無く、いろいろな取り組みがあることを知る。

水害による被害をおさえるために、どのようなとりくみが行われているでしょうか。



考えるポイント

- 川から水があふれないようにするには？
- 大雨がふったとき、身の回りでどのようなことが行われているかな？



鈴鹿川から水があふれないように、土などを盛りあげて、堤防をつくっています。



かわ そこ じょうりゅう なが
川の底には、上流から流
れてきた砂や泥がたまって
いきます。そのため、川の底
をほって、流れる水の量を
多くしています。

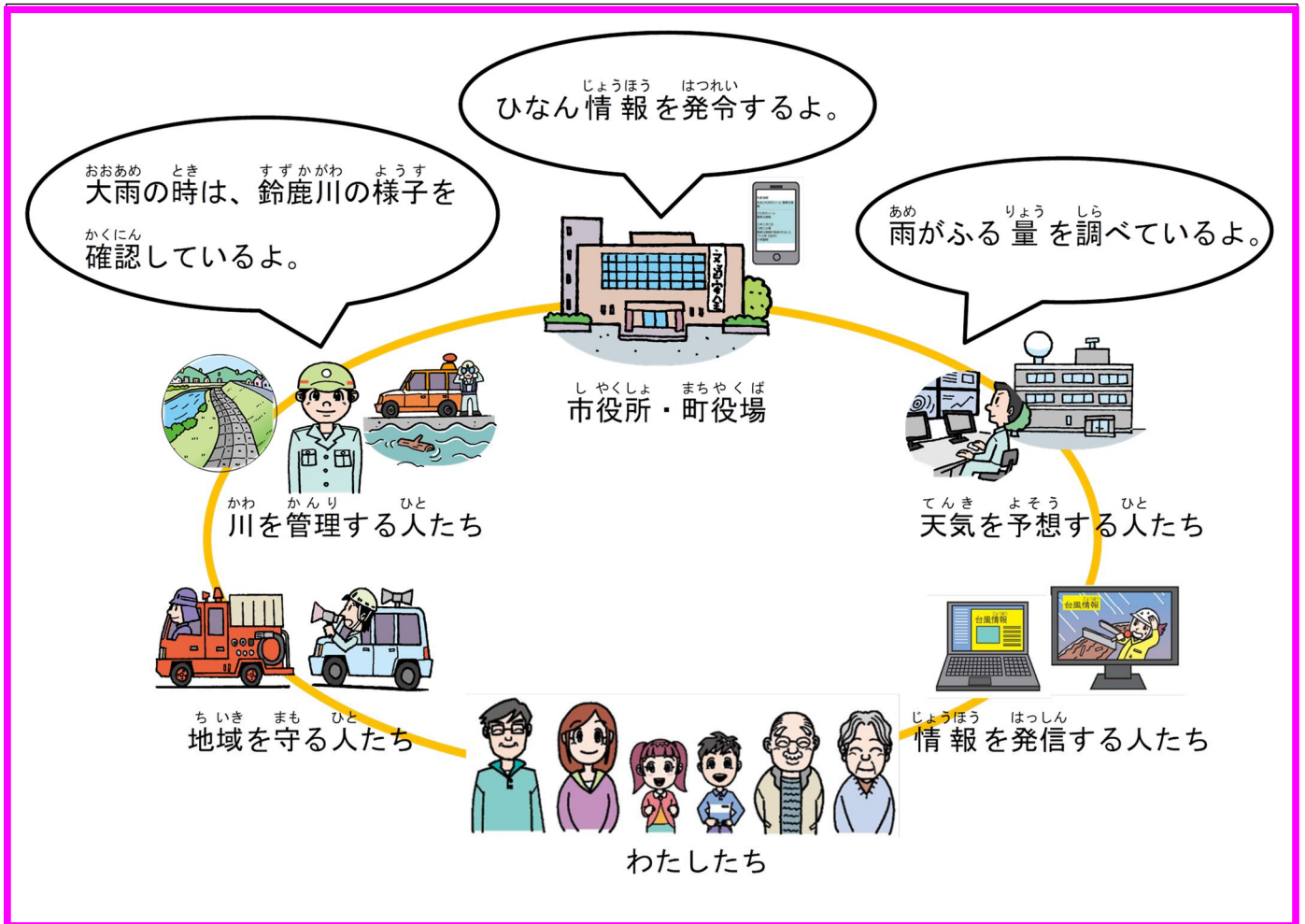
すずかがわぼうさい
鈴鹿川防災ステーション
の敷地内にある鈴鹿市河川
防災センターは、水防活動の
ための土砂などを保管し、
災害の時は復旧作業をする
基地になります。



また、定期的に堤防や
河川の施設が安全か点検を
しています。万が一にそな
えて、水防訓練も行ってい
ます。

このように、川はふだんから安全に管理されています。

また、大雨のときには、川を管理する人たち、天気を予想する人たち、ひなん情報を発令する市役所・町役場、さまざまな情報を発信する人たち、そして、わたしたち一人一人が関わりあっています。役割はさまざまですが、大雨による被害が少なくなるように、一人一人が「自分のいのちを守る」行動をとることが大切です。



水害で困らないため、わたしたちの周りで、
 いろんな人たちが関わりあっていることを学ぶ。
 たくさんの方が、災害にそなえるためには
 たらしているんだね。

(2) 地域の人、家族との助け合い

大雨のときは、天気のようにすやひなんの情報など、さまざまな情報がわたしたちのもとにとどきます。それらの情報や周りのようすを確認して、ひなんが必要なときは家族や地域の人たちと助け合ってひなんしましょう。もしも、家族と別々の場所にいるときに災害がおきたとしたら、まずは「自分のいのちを守る」行動をとりましょう。

もしものときにそなえて、持ち出し品やひなんをした後に集まる場所を家族で話し合っておきましょう。

もしもの時に備えて、家族と事前に決めておくべきことを学ぶ。



あらかじめ家族と決めておこう
<input type="checkbox"/> 持ち出し品
<input type="checkbox"/> ひなん先
<input type="checkbox"/> ひなんをした後に集まる場所 (家族が別々の場所にいるとき)
<input type="checkbox"/> ひなんをするときに注意する場所

高齢者の方や、幼い子どもは、一人で避難することが困難な災害弱者であることを学ぶ。また、そのような人が、身近な地域にいる場合は、避難の手助けが必要であることを学ぶ。



高齢者の方や幼い子どもなど、一人でひなんすることがむずかしい人がいれば、周りの人と一しょにひなんの手助けをしましょう。

もっと知ろう

も だ ひん じゅんび
持ち出し品の準備

ひなん所に準備されているものには、数に限りがあります。もしものときにそなえて、自ら準備しておく^{あんしん}と安心です。両手の空くリュックサックに^{も だ ひん じゅんび}持ち出し品を準備しておきましょう。



も だ ひん
持ち出し品

携帯ラジオ

懐中電灯

電池

非常食

水

救急医薬品

雨具

現金・貴重品

衣服

ろうそく（マッチ、ライターなど）



もっと知ろう

ひなんするときに注意すること

さんこう
参考：21 ページ

大雨によって、身の回りが危険な状態になることが予想される^{よそう}ときは、早め^{はや}に安全な場所^{ばしょ}へひなんしましょう。

移動が危険な場合は、高く^{たか}て安全な場所^{ばしょ}にひなんしましょう。もしも水の中^{みず なか}を移動する^{いどう}場合^{ばあい}があれば、棒^{ぼう}で足元^{あしもと}を確認^{かくにん}しながら進^{すす}みましょう。



この本では、鈴鹿川のまわりの水害について学びましたが、ひっこしを
 したり、外に出かけたりして、他の川の近くにいるときもあるでしょう。
 水害だけではなく、そのほかの自然災害がおこることもあります。そのよ
 うなときも、あせらずに周りの人と助け合って、「自分のいのちを守る」
 行動をとるようにしましょう。一人一人の日ごろの心がけが「もしもの
 ときのための安全」をつくれます。

水害が起こったときに、「行動」することの大切さを最後にもう一度伝える。



ぼくたちのまちの水害について、いろいろ
 なことを学んだね。

台風や大雨のときは、今回学んだことをいかして、
 自分のいのちを守る行動ができると思うわ。



将来、万が一、身の回りで水害が起こったとしても、
 今回学んだことを思い出して、焦らずに行動してほしいことを伝える。



川は時に危険な場所にもなるけれど、ふだん
 は生きものを観察したり、みんなで川遊びを
 したり、いろいろなことができる場所です。
 大雨がふったときの注意点を知ったうえで、
 自然とともに生きていきましょう。

川に対して「恐怖」の感情が残らないように、
 1章の内容をおさらいしながら、川には良い所がたくさんあることを伝える。

ワークシート

3 水害時にわたしたちがとるべき行動

うら面にはりつける「とるべき行動」シート

○点線で切り取って使いましょう。必要なものを自由に使ってね。

宿題用ワークシート裏面には、下記のイラストまたは文章を切り取って貼り付けるよう児童に伝えて下さい。必要なものだけを使用してください。



あんぜん ばしょ
安全な場所へひなんする
(場所:)



み
ハザードマップを見て、
いえ がっこう まわ
家や学校の周りの
じょうきょう かくにん
状況を確認する



なが たか
流されないように高くて
あんぜ ばしょ いどう
安全な場所へ移動する



も だ ひん じゆんひ
持ち出し品を準備する



じょうほう かくにん
ひなん情報を確認する

さき
ひなん先やひなんルート
かくにん
をあらためて確認する

れんらく
おじいちゃん
おばあちゃん に連絡する

み
ハザードマップを見ると
じたく あんぜん
自宅は安全であるため
じたく たいき
自宅で待機する

れんらく
() に連絡する

かんりよう
ひなんを完了する



児童の自宅がどこにあるか、避難先や親戚等の家がどこにあるかによって避難行動パターンは異なります。上記に挙げた避難行動以外に必要な行動があれば、点線枠のみ用意した白紙シートを活用してください。

